

症例報告

Nocardia pseudobrasiliensis による播種性ノカルジア 症の一例

我謝 正平^{1), 2)}, 赤嶺 盛和¹⁾, 有馬 聖志朗^{1), 2)}, 那
覇 唯¹⁾, 内原 照仁¹⁾, 山本 和子²⁾

1) 沖縄赤十字病院 呼吸器内科

2) 琉球大学病院 第一内科

要旨 肺ノカルジア症は日和見感染症として知られる稀な感染症である。免疫低下状態の患者で発症することが多く、全身に播種性病変をきたすことで知られる。今回胸水培養から *Nocardia pseudobrasiliensis* が検出され、播種性病変として脳膿瘍の合併を認めた症例を経験した。シプロフロキサシンを中心とした抗菌薬治療を計 12 ヶ月間行い各病変の消失を確認した。本菌はスルファメトキサゾール-トリメトプリムに耐性を示すことも多く、菌種の正確な同定と抗菌薬感受性試験が重要と考えられる。

キーワード: ST 耐性, 肺ノカルジア症, Trimethoprim and sulfonamide resistance, Pulmonary Nocardiosis, *Nocardia pseudobrasiliensis*.

N. pseudobrasiliensis の一例